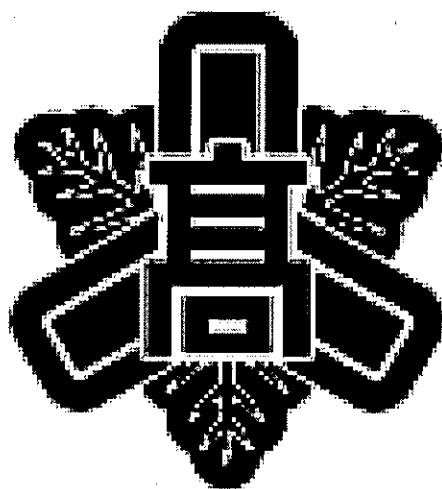


平成 30 年度学校経営計画



広島県立熊野高等学校

校番	57	学校名	広島県立熊野高等学校	校長氏名	神田 浩二	④定通	④分
----	----	-----	------------	------	-------	-----	----

1 ミッション(地域社会における自校の使命)

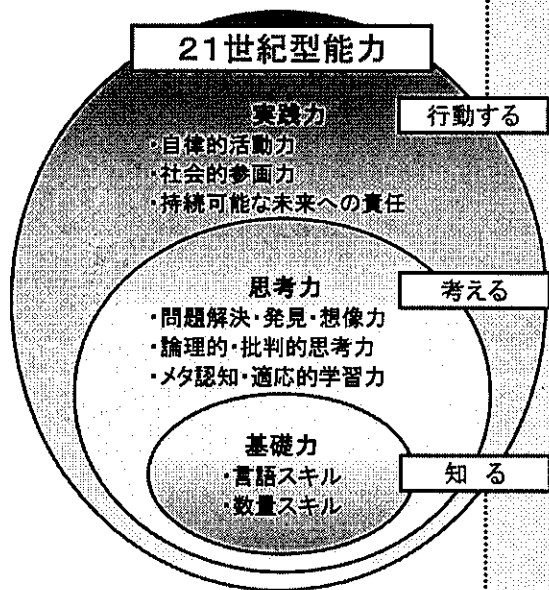
地域社会と連携し伝統文化を背景とした教育活動を推進し、本県における芸術教育をリードするとともに、地域社会の課題解決に取り組み未来を創る人材を育成する。

2 ビジョン(使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像)

- 一人一人の生徒の力を最大限に発揮させ自信と誇りを持って果敢に挑戦する生徒を育てる学校
- 「友愛・誠実・勤労」の校訓を基盤として、これからの厳しい時代を生き抜く力を生徒に育成する学校
- 地元幼・保・小・中学校、地域社会と一体となった教育活動を展開するとともに、大学等との連携を通じて、音楽・美術・書道をはじめ、専門的な教育を推進する学校

「本校が目指す育てたい生徒像」		
<ul style="list-style-type: none"> ・ルールとマナーを遵守し、相手の立場に立って自ら考え、他者と協働し、主体的に行動することができる生徒。 ・学校行事に積極的に取り組むとともに、自律的な学習者として、メリハリのある生活を送ることができる生徒。 ・果敢に挑戦して、自分自身を見つめる視点をあげ、進路実現に向けて、粘り強く努力をすることができる生徒。 		
1学年重点目標	2学年重点目標	3学年重点目標
素直に他者の意見を聞き入れ、自分を客観的に視ること、他者と協働しながら果敢に挑戦することのできる生徒を育成する。	学校の中心学年として、学校行事に積極的・主体的に取り組む、自らを成長させるとともに、進路目標実現を見据えて粘り強く努力することができる生徒を育成する。	熊野高校の生徒としての誇りを持たせ、進路目標実現に向けて粘り強く取り組み、地域社会の課題解決に貢献できる生徒を育成する。

思考力を中核とし、
それを支える基礎力と、
使い方を方向づける実践力の育成



21世紀型スキルへ向けて

思考の方法

- 1.創造性とイノベーション
 - ◆知的好奇心
- 2.批判的思考、問題解決、意思決定
 - ◆思考力/判断力
 - ◆情報収集/整理力
- 3.学び方の学習、メタ認知
 - ◆自律性
 - ◆企画力

働く方法

- 4.コミュニケーション
 - ◆話す・聴く力/意見交換力
 - ◆プレゼンテーション/表現力
- 5.コラボレーション(チームワーク)
 - ◆リーダーシップ/メンバーシップ

働くためのツール

- 6.情報リテラシー
- 7.ICTリテラシー

世界の中で生きる

- 8.地域とグローバルのよい市民であること(シチズンシップ)
 - ◆誠実性
 - ◆遵法性/協調性
- 9.人生とキャリア発達
 - ◆社会的行動力
- 10.個人の責任と社会的責任(異文化理解と異文化適応能力を含む)
 - ◆自己責任感

3 環境分析

平成23年度から25年度の前期に比べ、格段に改善した生活規律及び授業規律を維持・充実していきつつ、平成26年度からの3年間は、学校を挙げて、確かな学力を育む授業づくりに取り組む段階となった。昨年度、アクティブラーニングスタジオが完成し、教員の授業改善と合わせ、今年度は「学びの変革アクションプラン」の熊野高校版「学びの変革アクションプラン」を完全実施する。特別支援教育の視点に沿った教室環境の整備において、普通教室における私物の整理棚等の整備が十分でなく机回りに荷物が多くあることから、授業に集中させる環境について工夫が必要であるとともに、授業スタイルに合わせたベアトークが可能な体制が作りやすい。

地域からは常に強い支援があり、今後も協力・連携強化を図る中で本校の独自性を創造し、更なる活性化を図ることができる。教育内容充実のために、倉敷芸術科学大学、エリザベト音楽大学、広島文化学園大学、広島国際大学との教育提携協定締結、さらに、中国四川省内江第七中学(内江芸術学校)と姉妹校友好協定締結し、連携及び交流を続け生徒の進路につなげている。

芸術類型の教育成果はたいへん高く、発表機会がある度に高い評価を得ている。生徒個々は自己の成長を実感し、前へ進む自信と積極性を得ている。

日々の活動を熱心実践している部が確実に増えており、今後は試合等においても、好成績を収めていくものと期待できる。

4 基礎データ

○入学志願者数状況

	平成27年度 入学者数(180名)		平成28年度 入学者数(180名)		平成29年度 入学者数(175名)		平成30年度 入学者数(137名)	
	入学者 数	入学率 (%)	入学者 数	入学率 (%)	入学者 数	入学率 (%)	入学者 数	入学率 (%)
熊野中学校	28	15.6%	32	17.8%	26	14.9%	18	13.1%
熊野東中学校	49	27.2%	43	23.9%	44	25.1%	50	36.5%
矢野中学校 海田中学校・海田西中学校	35	19.4%	25	13.9%	26	14.9%	18	13.1%
昭和中学校・昭和中学校	46	25.6%	48	26.7%	48	27.4%	25	18.2%
その他	22	12.2%	32	17.8%	31	17.7%	26	19.0%

※平成27年度から平成29年度定員200名 平成30年度定員160名

○ 中学校との連携及び地域行事への参加状況

(ア) 芸術類型関係

	音楽コース	美術コース	書道コース
学校独自の活動	卒業演奏会	卒業作品展	卒業作品展
	研究発表会	卒業作品発表会	卒業作品発表会
	演奏家による「器楽講座」	外部講師特別授業(彫刻・工芸)	実用書道
	中学校等との合同練習会	応接室、廊下ギャラリー作品展示	応接室、廊下ギャラリー作品展示
	吹奏楽演奏		
地域連携	熊野町民体育大会	呉市内展示施設に作品展示	筆祭り 大書・競書大会
	水辺のコンサート	中学校に作品展示	熊野町中高書道部練成会
	安芸ライオンズ吹奏楽フェスティバル	筆の日用街角アート巨大画制作	熊野町書写書道研究協議会
		熊野町100周年記念事業絵画制作	筆の日作品展示、大書
		熊野町教育委員会プラム賞	筆作り体験

(イ) スポーツ関係

部活動連携(陸上競技, バスケットボール, 野球, ソフトテニス)

卓球「町民ピンポン大会」

陸上競技「真夏の12時間リレー」「町民陸上競技大会」「駅伝・ロードレース大会」, 町民体育大会補助員

(ウ) その他

家庭科「ひかり学園保育実習」

JRC, 茶道, 箏曲「町民文化祭」

国際ソロプチミストクラブ活動

○ 進路状況

(単位:人)

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
4年制大学	68	34%	55	34%	35	24%	47	29%
短大	25	13%	12	7%	13	9%	5	3%
専門学校	48	24%	36	22%	38	27%	53	32%
就職	60	30%	52	32%	49	34%	54	33%
その他	0	0%	5	3%	8	6%	5	3%

○ 芸術類型に関して

① 芸術類型の大会等の主な成績(平成29年度実績)

○音楽コース

- ・第58回広島県吹奏楽コンクール高校A部門 銅賞
- ・第30回全日本マーチングコンテスト広島県大会 銀賞
- ・第41回広島県アンサンブルコンテスト 管打八重奏 銀賞
- ・第41回広島県アンサンブルコンテスト 金管八重奏 銀賞
- ・水辺のコンサート第14回吹奏楽フェスティバル 感謝状
- ・第34回中国ユース音楽コンクール管楽器部門(木管楽器の部)2名出場
- ・平成29年度ハイスクール・ミュージック・コンサート 優秀賞1名
- ・第18回大阪国際コンクール 広島地区本選出場 1名

○美術コース

- ・第41回全国高等学校総合文化祭広島大会文化連盟賞 2名
- ・第42回全国高等学校総合文化祭広島大会出品決定 1名
- ・第9回全国高校生現代アートビエンナーレ 優秀賞2名 大原美術館賞2名 加計美術館賞2名 佳作1名 入選4名
- ・第9回高校生絵のまち尾道四季展 尾道賞1名 入選7名
- ・第45回広島県高等学校デザインコンクール 学校賞 広島県教育委員会賞1名 特選3点 入選10点
- ・第15回広島県高等学校絵画、彫刻コンクール 学校賞 大賞1名 奨励賞2名 特選2名 入選4名
- ・平成29年度「ひろしま教育の日」ポスター 最優秀賞1名(採用) 優秀賞1名
- ・第3回ドローイング大賞展 優秀賞1名 奨励賞1名 入選4名
- ・第21回高校生デザイン大賞 学校賞 奨励賞2名 入選7名
- ・第70回広島県高等学校総合体育大会ポスター・バジデザイン 特選3名 入選9名
- ・第41回広島県高等学校総合文化祭ポスターデザイン 特選3名 入選8名
- ・第9回広島県高等学校美術連盟「平和公園アート大会2017」 入選8名
- ・第21回くれしん高校生イラスト(呉信用金庫) 優秀賞2名 努力賞5名
- ・平成29年度明るい選挙啓発ポスター 佳作2名
- ・平成29年度愛鳥週間ポスター 入選2名 佳作1名
- ・平成29年度広島県緑化ポスター原画コンクール 入選1名
- ・平成29年度全県一斉あいさつ運動ポスター 優秀賞(ポスター採用)1名
- ・熊野町制100周年記念事業「未来の熊野町」絵画 特別賞1名
- ・第3回 Art Exhibition 瀬戸内大賞 入選2名

○書道コース

- ・第18回高校生国際美術展 書の部 奨励賞3名
- ・第35回ふれあい書道展 広島県議会賞1名, 熊野筆事業協同組合理事長賞1名, 筆都大賞2名
- ・第16回全国書道展(岐阜女子大) 準大賞1名, 奨励賞1名
- ・広島県高等学校書道連盟席書大会 奨励賞1名, 秀作賞4名
- ・第45回全国高校書道展 推薦賞1名, 特選4名
- ・第22回全校書研中国地区高等学校生徒書道展 広島県教育委員会賞1名, 読売賞1名, 特選6名
- ・第14回安芸全国書展高校生大会 入選 2名
- ・第12回全国高校生書道S-1グランプリ グランプリ1名, 準グランプリ1名 まほろば賞2名
- ・第26回国際高校生選抜書展 準大賞1名, 入選3名
- ・平成29年度広島県高等学校書道展 優秀賞1名
- ・第59回全国書道展 推薦賞1名, 特選8名
- ・第36回道風の書臨書作品展 優秀賞1名, 秀作賞2名
- ・第51回新春毎日書き初め展 毛筆の部:書き初め大賞1名, 熊野町長賞1名, 優秀賞2名 硬筆の部:優秀賞 2名
- ・第23回全日本高等学校書道コンクール 部門賞1名, 準部門賞3名

5 平成30年度重点目標

「キャリア発達プロジェクト」の充実	対応方策
<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の学力等の多様化に対応し、規範意識・学ぶ姿勢の一層の向上が望まれる。 ○生徒に高い志を持たせ、確実な学力向上を図ることが望まれる。 ○地域との協力のもと、地域社会の課題解決や未来の創造に意欲を持つ人材の育成が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○わかる授業の視点を踏まえた環境整備 ○スターティングウィーク ○学習合宿 ○福祉・介護の現場体験 ○芸術類型卒業作品展(美・書) ○芸術類型卒業演奏会(音) ○大学見学・インターンシップ ○「くま・みら・カフェ」によるキャリア発達の追求 ○熊野町町制施行100周年記念行事の活用

6 目標の設定

学校経営目標						
達成目標	評価指標	実績値		目標値		担当部等
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
1 一人一人の生徒の力を最大限に発揮させ、自信と誇りを持って果敢に挑戦する生徒を育てる学校						
確かな学力を身に付けさせ、希望進路を実現させる。	家庭学習時間(1日平均)	144分	150分	155分	160分	教務部
	体験活動実施後のアンケートで、自己存在感、自己肯定感が増した(「うまく交流できた」と回答)生徒割合	35%	25%	27%	29%	進路指導部 学年各教科
	各種検定3級以上の合格者数(英検、漢検、ワープロ検、サービスマ検等)	127人	120人	130人	140人	
	進路マップ基礎力診断テスト1年4月から2年4月を比較したDゾーン生徒割合(%)の減少率	0.2%	5%減	2%減	3%減	教務部
授業評価アンケートにおける肯定的な回答の割合(2回実施)	84%	86%	88%	90%		
2 「友愛・誠実・勤労」の校訓を基盤として、これからの厳しい時代を生き抜く力を生徒に育成する学校						
ルールやマナーを身につけ、責任を自覚し地域社会に貢献できる人材の育成。	1日平均の遅刻者数(人/日)	3.6	3	2.8	2.7	生徒指導部 全学年
	遅刻0達成日数(日/年)	22	24	28	30	
	チェックシートの複数回指導生徒数(人/月)	3	6	5	4	
	特別指導件数(件/年)	13	4	3	2	
	学校評価アンケート項目「社会のルールを守る態度育成」の肯定率(%)	保護者76	保護者76	保護者80	保護者84	
	生徒会を中心とした「いじめ防止」の取り組み(いじめ防止委員会の機能化・月1回の開催)	新規	12回以上	12回以上	12回以上	
悩みを自ら解決するための方法やスキルを身につけている。	生徒生活チェックアンケート項目「校内美化及び校外美化の励行」の肯定率(%)	75%	76%	78%	80%	保健部
	生活チェックアンケート項目「悩みを相談できる人がいる」の肯定率(%)	新規	60%	70%	80%	
教育相談体制の充実(スクールカウンセラー活用率 % (人数/日 × 100/5))	新規	70%	85%	100%		
3 地元幼・保・小・中学校、地域社会と一体となった教育活動を展開するとともに、大学等との連携を通じて、音楽・美術・書道をはじめ、専門的な教育を推進する学校						
音楽・美術・書道の専門的な教育を推進し、希望進路を実現する。	全国・全県規模の受賞者数	90%	92%	94%	96%	芸術科
	学校評価アンケート項目「芸術類型など、特色ある教育活動の取組状況」の肯定率(%)	保護者83%	84%	85%	86%	
	進路第1希望の達成率	76.9%	78%	79%	80%	
学校行事や生徒会・部活動等を活性化するとともに、生徒・保護者・地域の学校に対する満足度を向上させる。	入学生における熊野町内の中学校卒業生の占める割合	平30選抜49.6%	平31選抜50%	平32選抜52%	平33選抜54%	総務部 生徒指導部 (生徒会)
	オープンスクールの参加者数	319人	330人	340人	350人	
	学校評価アンケート項目「教育目標や方針のわかりやすい伝達」の行程率(%)	73%	75%	78%	80%	
	学校評価アンケート項目「本校HP等、学校情報の適切な発信状況」の行程率(%)	83%	84%	85%	86%	
	PTA総会への保護者の出席率(%)	23%	24%	25%	26%	
	文化祭・体育祭への入場者数	1404	1450	1500	1550	
	部活動への加入率(9月調査)	61%	72%	75%	78%	
4 新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制を構築し、教師の人間性を高め、生徒に真に必要な総合的な指導を持続的に行うことのできる学校						
教師が疲労や心理的負担を過度に蓄積して心身の健康を損なうことなく、生徒によりそう教育を行う。	「生徒と向き合う時間が確保できている」と感じる職員の校内割合	新規	50%	55%	60%	全教職員

7 行動計画

学校経営目標

達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 一人一人の生徒の力を最大限に発揮させ、自信と誇りを持って果敢に挑戦する生徒を育てる学校			
<p>確かな学力を身に付けさせ、希望進路を実現させる。</p>	<p>大学を希望する生徒の進路の実現</p>	<p>○社会と繋ぐ体験の場において、進路モデルと触れあう事を通して、その実現の為に自ら目標を設定し、努力する中で、自信と誇りを醸成し、キャリアパスを身につけさせる。</p>	<p>進路指導部 教務部 全教科</p>
	<p>○計画的、組織的な進路指導を行い、国公立大学も視野に入れ、他者と協働しながら課題解決方法を考える探求心を育成する。</p>		
	<p>○大学等と連携し、計画的に大学における学問探究活動を体験させ、夢を目標に変える取組を充実させる。</p>		
	<p>○模擬試験の事前事後指導やデータ分析を適切に行い、生徒それぞれに対応した学習方法の指導を提案する。</p>		
	<p>生徒の学習習慣の確立</p>	<p>○家庭学習の習慣を身につけさせるような各教科の取組みを推進・調整する。</p>	
	<p>○関係教科による家庭学習課題を課す。</p>		
	<p>○学習時間調査を行う。</p>	<p>○1年生から補習を実施し、3年生において、高い視点から問題を考察し、その問題解決の方法や解答を導き出せる力を養成する。</p>	
	<p>学力向上のための補習の充実</p>		
	<p>○新入生に対し「学び直し」を通して義務教育段階の学習の総復習を行い、学習における土台を作る。</p>		
	<p>○英語検定や漢字検定、各種検定等の合格者を増やし、基礎学力の定着に加え、生徒自身が自信を持てるようにする。</p>		
<p>○国語、数学、英語に加え、3年生には理科、地歴・公民も放課後の補習等を実施する。また、必要に応じて小論文等補習も行う。</p>	<p>○1年生から、キャリア教育等の段階的・組織的な指導に努め、進路に対する意識を醸成する。 ○3年生の一学期末までには自ら進んで進路目標を見据え努力するようにする。</p>		
<p>○知識取得の過程を通して、大学進学に必要な解答能力の取得を図ると共に、大学進学後に必要な思考力、表現力の育成を図る。</p>			
<p>進路目標の早期決定</p>			
<p>○総合的な学習の時間、LHRの時間を充実し、3年生一学期末には全員の生徒の進路目標が決定する指導を行う。</p>	<p>○アンケート項目の継続的な検討と学力調査の適切な分析により、授業改善の取組みを推進する。</p>		
<p>○「ジョブサポートティーチャー」を積極的に活用する。</p>			
<p>生徒の学習意欲を喚起する授業作り</p>			
<p>○授業評価アンケートを2回実施し分析を行う。</p>	<p>○授業改善のための公開授業や教員相互の授業観察等により、教科指導力(授業力)を向上する。</p>		
<p>○教育課程の研究や教務規程の効率的な実施の工夫を進める。</p>			
<p>公開・研究授業と授業の相互観察の推進</p>	<p>○「基礎学力の定着」をテーマに、全員公開研究授業の実施と年2回以上の相互授業観察を実施する。</p>		

2 「友愛・誠実・勤労」の校訓を基盤として、これからの厳しい時代を生き抜く力を生徒に育成する学校

<p>ルールやマナーを身につけ、高校生として自覚を持った行動ができる。</p>	<p>遅刻指導の徹底</p> <p>○各学年の生徒指導部担当と学年主任・学級担任が連携し、確実な指導を行う。</p> <p>○組織的な遅刻指導に引き続き取り組んでいく。</p>	<p>○時間を守ることができないことが周囲に迷惑をかけ、自身の信用を失い、そのことが自らの進路実現の大きな障壁につながってしまうことを意識させる指導体制を確立する。</p> <p>○面談形式の遅刻指導を徹底することで規範意識の高揚を図る。</p>	<p>生徒指導部 教務部 全学年</p>
	<p>服装・頭髪指導の徹底</p> <p>○毎日のSHR時や授業時等での指導だけでなく、登下校時の校外巡視や休憩時間の校内巡視も随時実施し、制服を正しく着用させる。</p> <p>○各学期の始業時に生徒指導部による頭髪の一斉検査を実施し、各学年の生徒指導部による頭髪検査を毎月行うことで、高校生にふさわしい頭髪を維持させる。</p> <p>○改善が不十分な生徒への指導を徹底し、生徒の意識を改善していく。</p>	<p>○校内外問わず、生徒が制服を正しく着用できている状況を維持するため、組織的な指導体制を確立する。</p> <p>○就職・進学時の面接で通用する服装・頭髪を生徒に常に意識させる指導を継続する。</p>	
	<p>授業規律の確立</p> <p>○「授業開始等マニュアル」「授業態度5原則」を徹底することで、休み時間から授業時間への切替えを促し授業規律を維持する。</p> <p>○効果が現れている授業態度(姿勢)指導や授業中の教室巡視に引き続き取り組んでいく。</p>	<p>○生徒が意欲的に授業に取り組めるような授業改善・学習支援の体制を確立し、「わかる授業」の創造に努め、学習の基礎・基本の徹底を図る。</p>	
	<p>問題行動の未然防止</p> <p>○生徒個々に応じた多角的な生徒理解を深め、問題行動につながる可能性のある生徒に早期に対応し、未然防止を図る。</p>	<p>○生徒が問題行動を起こす背景にあるものを客観的に捉え、生徒が気軽に悩みや不安を相談できる体制を確立して、生徒の心に寄り添う指導を実践する。</p>	
	<p>校内美化意識の醸成</p> <p>○日々の清掃活動の充実を図るため、掃除の基準となる手順を作成し提示する 美化週間を設ける</p> <p>○美化委員による美化点検方法の改善と結果のより有効な活用を検討する。美化委員会主体の活動を拡げる。</p>	<p>○日々の清掃活動を通じて、清掃習慣を身に付け、美化に対する意識を高める</p> <p>○校外清掃を通じて、地域の美化や校外でのマナーについて考える力を身に付けさせる。</p>	
	<p>心の回復力・自己効力感の育成</p> <p>○校内教育相談窓口とSC・相談日の周知および積極的な活用</p> <p>○生徒の日々の様子や状況把握と情報共有</p> <p>○保護者連携</p>	<p>○生徒に柔軟な思考を育て個々のレジリエンスを体験活動や人間関係の充実により育てる。</p>	
<p>悩みを自ら解決するための方法やスキルを身につけている。</p>			<p>保健部</p>

3 地元幼・保・小・中学校、地域社会と一体となった教育活動を展開するとともに、大学等との連携を通じて、音楽・美術・書道をはじめ、専門的な教育を推進する学校

<p>音楽・美術・書道の専門的な教育を推進し、希望進路を実現する。</p>	<p>類型で学んだ力の活用</p> <p>○進路希望先を早期に決定させ、その実現に向けた個人指導を強化する。</p> <p>○それぞれの専門性を活かし、地域に貢献する。</p> <p>○成果発表参加者増加のための戦略的な広報活動の充実を図る。</p>	<p>○中学校訪問において、将来芸術方面の進路に関心を持つとともに、芸術類型の中で中心的役割を果たしてくれる生徒を毎年10人程度確保する。</p>	<p>芸術科</p>	
	<p>地域・保護者の活用</p> <p>PTA総会、文化祭、体育祭等、保護者の学校行事への関心を高める取り組みの充実を図る。</p> <p>保護者に校内での生徒の状況を見てもらう「わが子の姿を一目見てみよう」運動の充実をはかる。</p> <p>本校の教育活動をより良いものにするために、保護者対象の学校評価アンケートを実施する。</p>			<p>学校評価アンケートを実施し、PTA総会等、保護者への取り組みについて、分析・改善・検証を行いPTA活動の充実を図る。</p>
	<p>学校行事や生徒会・部活動等を活性化するとともに、生徒・保護者・地域の学校に対する満足度を向上させる。</p> <p>学校行事・生徒会・部活動等の活性化</p> <p>オープンスクールや熊高祭の内容の充実を図る。</p> <p>生徒会活動の活性化を図り、多面的な生徒の自主的活動を促す。</p> <p>各部ともに、加入への積極的な動きを促し、活動の充実を図る。</p>			<p>保護者、地域の方により高い評価を得るような文化祭等の内容を作りあげる。学校代表としての意識を持たせながら、地域貢献を含めた生徒会活動を多面的に推進する。また生徒自らが考え創り出す自主的生徒会活動を促して積極的に支援する。</p> <p>学校行事の中心的担い手として部活動を位置づけ、活性化を促進する。</p>
<p>4 新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制を構築し、教師の人間性を高め、生徒に真に必要な総合的な指導を持続的に行うことのできる学校</p>	<p>教員の時間的余裕の確保</p> <p>各分掌において会議・行事等の見直し、精選を行い、スクラブできる行事等の候補を持ち寄り検討する。</p>	<p>会議・行事等の見直し、精選を行うとともに事務処理の効率化、様式等の見直し・共有化を図り、教員に時間的余裕を確保する。</p>	<p>全教職員</p>	